

件 名：徳島駅周辺のまちづくりに向けた意見交換会
（県都魅力度アップ推進WGワーキンググループとの連携）
日 時：令和5年9月25日（月）午前10時～11時
場 所：徳島県庁11階1101会議室
参加者：資料1のとおり

<概要>

村上政策監補から挨拶（WGの経緯、議会答弁、意見交換会の目的、財務事務所、徳島河川国道事務所、JR四国の役割、協力の依頼について）。

<マスコミ退室>

赤堀次長より、ワーキンググループの説明、資料2から7の説明後、意見交換を行い、オブザーバ参加頂くことになった。

意見交換の概要は以下のとおり。

県：県市で情報共有しながら進めているが、皆様と連携しないと進まない。ワーキングでは、新ホールやアリーナを含め議論。中心市街地に施設を持つてくるのがまちづくりのトレンド。県としても考えていることがある。鉄道高架事業にも関係するが、駅の北側へのアクセスが向上する。

JR：鉄道高架事業は、都市計画事業として行われるもの。我々として、協力できるところは協力していく。

河国：環状道路や高規格道路も整備を進めている。今後、開通したときに、鉄道を含め交通ネットワークがどのように変わるか考えるのが重要になってくる。また、南海トラフ地震など安全安心の観点や、景観、合意形成についても考えておく必要がある。

県：徳島は車社会になっているが、駅前のまちづくりによって鉄道を使ってもらえるようになれば。ワーキングでも、県内周遊動線の構築をテーマにしている。景観面では、ひょうたん島クルーズは、全国的に見ても魅力的で、川を向いてまちづくりをしたい。

財務：中央公園、聾学校跡地に国有地を所有しており、中央公園は市に貸付しているところ。聾学校跡地は、県市の公有地と隣接し、まとまった土地となっており、個別活用財産として、国県市で協議している。まちづくりに寄与できれば。

県：市とのワーキングで情報共有していきたい。

以上